

## 第230回一関市教育委員会定例会 会議録

### 1 開催日時

開会 令和4年2月18日（金）午後1時30分

閉会 令和4年2月18日（金）午後2時40分

### 2 会議の場所

一関保健センター 会議室1

### 3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

委員 桂島加奈子

### 4 会議に出席した関係者及び職員

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 教育部長               | 菅原春彦     |
| 一関図書館長             | 黒川俊之     |
| 教育部次長兼教育総務課長       | 及川和也     |
| 教育部次長兼学校教育課長       | 菅原正樹     |
| 教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長 | 千葉浩      |
| 一関市博物館次長           | 佐藤光俊     |
| 教育総務課庶務係長          | 細川圭子（記録） |

### 5 報告

- (1) 行事報告及び行事予定について

### 6 その他

- (1) 一関市の地域部活動制度について
- (2) 一関市博物館の事務事業について
- (3) 新花泉小学校、新大東中学校の統合推進委員会の検討状況について
- (4) その他

## 7 会議の議事

○教育長 ただいまから第230回一関市教育委員会定例会を始めます。

### 報告(1) 行事報告及び行事予定について

○教育長 2番報告に入ります。

行事報告及び行事予定につきまして、行事報告について私のほうからお話しさせていただきます。

1ページをご覧ください。今回は1月27日が教育委員会定例会でありましたので、そのあとのことについて報告いたします。

1月28日、一関市奨学生第1次選考委員会がありました。第1次となっていますが、1月に第1次というのは、次年度、令和4年度の奨学生の募集についてここで審査したところであります。今回は、高校生は申し込みがなく、大学生等20人がこれに申し込まれました。大学については、月額4万5,000円の奨学金であります。この後、市長のほうに報告して決定ということになるわけですが、若干、奨学生の人数がここ数年減少している状況になります。他の奨学金もかなりいろいろ出てきていますので、そういう関係なのかとは思いますが。

同じ日、教育民生常任委員会がありました。これは室根小学校の校舎建築工事関係についてでありました。ここで議会のほうの教育民生常任委員にお話をさせていただいて、翌週の31日には、地域の方々にそのお話をさせていただきました。工事が遅れる見込みであるということで、校舎に入るのが当初は6月になるという予定だったのですが、さらに遅れて8月頃に引っ越しになるというお話を事前にさせていただいたところでありました。委員さん方には前にこのことについて報告させていただいておりました。

29日、一関市のユネスコ協会の事業でSDGs推進躍進フォーラムがありました。これはこちらの主催ではないのですが、私にも案内がありましたので、行って祝辞をさせていただきました。高校生とか高専生とか短大生が意見発表するというそういう機会でありました。10名ほどの意見発表でありましたが、現在、市でも取り組んでおりますSDGsについての様々な意見を聞くことができました。

第45週であります。2月に入って2月3日、岩手県生涯学習推進研究発表会がありました。毎年これは、生涯学習の社会教育のほうについても研究発表を行っておりますが、教員のほうは、またこれとは別に、研究発表大会が、総合教育センターを会場に行われるのですが、今年度はオンラインでありました。今回の発表の中で、一関市内にありますポケットの会という重度の障害を持つ子どもの親御さんとか子どもたちが作っている組織がありまして、そのポケットの会の会員であります三浦かおるさんというお母さんがここで

発表されました。娘さんの三浦りんさんは、重度の障害を抱えているのですが、地元の学校で周りの子どもたちと学習したい、生活したいということもありまして、山目小、磐井中、それから清明支援学校、そして現在は清明支援学校の高等部を卒業して、岩手県立大学の聴講生をしながら、学びということを大事にしながら取り組んでいる家族の方でありました。その発表がありまして非常にいい発表だったなというように思います。

同じ日、第2回の博物館協議会がありました。年2回この協議会を行って、様々な意見をいただいているところではありますが、今年度の取組、次年度の取組予定をここで話しさせていただきました。今年度は棟方志功展があったためか、去年よりも一昨年よりも入館者数が多いという状況でありまして、棟方志功展だけで1万1,392人が入館したということでした。単独の企画展で1万人を超えるのはこれまでなかったそうなのですが、今回単独の棟方志功展だけで1万人を超えるというそういう状況であったようであります。コロナ禍であります。そういう点では、博物館のこういう企画展が非常に広がりを持ったなというように思います。

なお、現在は3月6日まで、大槻玄沢、磐溪、文彦展を行っておりますが、そのあと3月19日から4月10日に、SPRING EXHIBITION「鳳凰、舞う。」というテーマで、佐藤紫煙という一関出身の日本画家の絵を展示する予定であります。その方は日本画家であります。その作品というのは、この壁が大体埋まるぐらいの大きさであります。非常に見応えがある絵でありますので、ぜひ、見ていただければと思います。

4日、市長副市長協議一関小建設関係について触れておきますが、一関小の建設に関しては、現在進めている室根、花泉、大東が終わったら最優先で一関小に取りかかる予定であります。令和4年度につきましては、建築方法を木造にするかどうかRCにするか、或いは場所をどうするか、そのあたりの検討でかなりの時間を要するということですので、令和4年はそういうことを検討することが中心になるのではないかと思います。そのあとに、今後のスケジュール等が検討されるという方向になりそうであります。

同じ日、学校給食センターの運営委員会がありました。年2回の会議でありまして、令和3年度の実施状況の報告とか令和4年度の計画であります。収納率については、公会計になったこともあって、ほぼ100%に近い状況であります。最終的にその結果がわかるのは6月頃であります。正確な数字は言えないのですが、いずれかなり高い収納率の状況になっております。なお、給食センターは6か所ありますが、今年度は、5か所は業者委託にしておりましたが、真滝だけは市の直営でやっておりました。次年度からはその真滝も委託ということで事務を進めておりまして、次年度は西部、西部第2、それから真滝給食センターは東洋食品という会社、それから花泉、大東、千厩はメフォスという会社が受け持つこととなります。向こう5年間、その会社でやっていただくということになりそう

であります。なお、これに関係するのでお話ししておきますが、前にも委員さん方にお配りしたと思うのですが、給食だよりですが、この給食について、現在図書館の階段を上がった2階のところに、給食についての展示コーナーを設けております。行った際にはぜひ見てください。非常に良い展示でありまして、この間レシピコンテストをやったのですがその作品等も載っておりますので、ぜひ見ていただければと思います。

翌週2月7日、学校運営協議会連絡校長会議がありました。これは次年度から学校運営協議会を9校でスタートさせる予定でありますので、その打ち合わせ等を行ったところでもあります。

2月8日、校長会議がありました。今年度最後の校長会議でありました。この中で今回は、高専の荒木信夫校長先生においでいただきまして、30分ほど講話をいただきました。地域を元気にする話もいただきましたし、高専生の活躍等も話がありました。中でも非常に、元気をもらったのは、高専生が起業しているという情報もその中で紹介がありまして、この荒木先生は、前は新潟県の長岡の高専の校長先生で、こちらの一関高専にいらしたのですが、長岡のほうでも市と連携しながら大分起業活動も盛んだったようでありまして、そういう方々が地元に残って地元を元気にするという意味では、これから非常に、示唆に富む方向性だなというように感じたところでもあります。なおこの校長先生は、今まで、高専の卒業生というのは、大企業、都市という方向性が非常に強かったのですけれども、それではいけないと、やっぱり地域を元気にするというそういう役割も高専が担っているんだろうという考え方をいろんなところで強調しておりました。

2ページをご覧ください。2月14日、地域部活動に係る検討会、これは中学校の校長先生方の臨時校長会議で行ったわけですが、地域部活動に係る検討会は、今回で3回目となっております。今日の会議の後半で、これについてもお話をさせていただきたいと思っております。

2月18日、今日であります。午前中に寄付金受領となっておりますが、前の勝部市長から、図書館に本の寄贈がありました。合計100万円ほどの本の寄贈がありました。市長あての寄贈でありましたが、私も同席させていただいたところでもあります。

行事報告については以上です。

何かご質問ありますか。

千葉委員。

○千葉委員 2月4日に川崎中学校隣接地地権者要望対応打ち合わせとありますがこれはどういうことでしょうか。

○教育長 内容については委員さん方には報告しておりませんが、中学校の隣接地権者の山への通路につきまして、学校関係と支所、教育委員会と協議が必要だということ

とで、その報告を支所のほうから受けたという、そういう段階であります。今後、調整をしていきたいと思っております。

その他に何かありますか。

伊藤委員。

○伊藤委員 1月28日の奨学生についてですが、市の貸し付ける額は億単位でしたでしょうか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 予算にして8,000万円程度の予算がございまして、この予算につきましては、今、奨学金の貸付が終了して卒業した方からの返済を受けながら、その返済金を原資としてまた新たな方に貸し出すという方法をとっております。今確保している予算が8,000万円くらいだということであります。

○伊藤委員 先ほど教育長がおっしゃったように、奨学金を希望する生徒が少なくなっているということでしょうか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 年々申し込まれる学生さんが少なくなっているということで、3年ぐらい前は、年間通して2次募集までで50人ぐらいいらっしゃったのですが、去年は30人、今年は1次が20人、2次で何人かは募集があるとおもいますが、やはり少なくなっているところです。

○伊藤委員 私がなぜそのことをお聞きしたかということ、過日、高等学校の出願状況が新聞に出ていたのですが、ほとんど市内の高等学校は定員割れをしているようでした。これだけ生徒が少なくなってきた、子どもたちも入りやすくなっている。学校でもある程度、金銭的な経済的な支援もしているし、こういう奨学金というものは、これから額もそうですけれど、少なくなってくる傾向にあるのでしょうか。その辺はいかがですか。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 額自体は、一定の額は確保していますので、収納状況さえちゃんと確認していれば、原資がございまして、その辺は大丈夫かなと思っております。

○教育長 今後の状況を見ながら、将来的には条件とか、貸出の額とか、そういう検討は、だんだんには必要なのかなと思います。今まだ様子を見ているだけで、若干ここ何年間かは減少傾向なので、それに応じて対応は必要ではないかと思っておりました。

その他ありますか。よろしいですか。

桂島委員。

○桂島委員 先ほど、図書館のほうに給食の展示があるということでしたが、見に行きたいと思っております。ちなみにいつまででしたでしょうか。

○一関図書館長 次の図書整理休館日までなので、2月23日までです。

○教育長 その他、よろしいでしょうか。

それでは行事予定につきましてお願いします。

教育総務課長。

○教育総務課長 (説明)

○教育長 それでは最初に、次回の教育委員会定例会ですが、3月24日の1時半から、そのあと離任式がありますけれど、ここでよろしいでしょうか。予定を入れていただければと思います。あとは、臨時会については、申し訳ありませんが、この後、わかり次第連絡させていただきます。

行事予定について何かご質問ありますか。

一旦休憩に入ります。

(休憩)

#### その他(1) 一関市の地域部活動制度について

○教育長 再開します。3のその他に入ります。(1)一関市の地域部活動制度について、事務局から説明願います。

学校教育課長。

○学校教育課長 (説明)

○教育長 これについては、新たな形の学校部活動、地域部活動の新たな制度であります。独自にこういう形でもってやれるところからやっていくという形をとりたいと思っておりました。現在のところ、東山の卓球部が学校にないのですが、地域にそういう活動をしている若松スポーツ少年団というのがありますので、その団体と、あと千厩中学校の柔道についてもかなりスポ少活動が盛んでありますので、地域部活動として進めようとしているところであります。

これにつきまして質問をお願いします。

千葉委員。

○千葉委員 教職員の多忙化を緩和をするために、学校で行われているすべての部を地域に移すのかなと考えていたのですが、これを読むと学校で部活動があれば、例えばバスケットや卓球の部があれば、その分は対象外ということなのですか。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 例えば、柔道の場合、千厩中学校に柔道部があるのですけれども、地域部活動で柔道をやるとすればそこに移行していくので、中学校の柔道部としてはなくなり

ます。地域部活動なので、顧問の先生はいなくなります。窓口となる先生をつけながら、普段の指導などは地域部活動の中でやっていくということです。

東山の場合は卓球部がないのでそのままなのですが、地域部活動でもしやる団体があるとすれば、その部活動を地域に移行するので、中学校からその部活動がなくなります。ただ子どもたちは、日常からそっちでやっているの、子供たちの動きとしてはあまり変わらないこととなります。

○千葉委員 第2の(2)の意味がちょっとよくわからないのですが「学校部活動で行われているスポーツ、文化等の種類以外の活動」なので、もし学校に卓球部があれば、地域の部活動には該当しないという意味かと思ったのですが、違うのですか。

○教育長 そのとおりです。つまり二重に学校部活動もある、地域部活動もあるという形はとらないということです。生徒が所属して大会等に出るときにいろいろな問題が出てくるだろうという想定のもとに、それは当面現実にはないと思うのですが、このことを入れておいて、そういう形はなくすようにしたいということです。ですから逆に言うと地域部活動を作るといふ時にはその種類の学校部活動はなくすということです。卓球部があつて、地域のほうに移行する時には学校部活動はなくすということで、2つともある状態は作らないということです。

○千葉委員 最終的に目標としては、学校の部活動はなくす、最終的に地域に移すのが最終目標と理解してよろしいですか。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 最終的にはそこに行きつけばいいのだと思いますけれども、現実問題として、都会ではまた違うのですけれども、一関の場合には、交通手段であるとか、それこそ指導者の問題であるとか、いろいろと問題があるので、今、ある程度そういう形でやっているところを、少しずつ移行していくところなので、現実的にはそこを目指してもそうはならないのだろうなと思います。何十年かかるかわからないのですけれども、長い時間かかって、そういうシステムができていけばいいのですけれども、目指しますが現実的に難しいだろうなというように思います。

○教育長 現実の問題とすれば、学校教育課長から数十年かかるのではないかという話がありました。併存していくと思います。指導者がいるような部は地域でやっていただくけれども、学校の先生がやったほうがいい部も、実際にやりたいという先生もいますから、それは併存してやっていくと。ただ現実の問題として、例えば柔道の団体戦についても、千厩中学校は組めますけれどもほかはなかなか組めなくなっています。ところが学校によっては個人的にそういうところに参加している子もいるわけですね。藤沢中とか室根中とか。そういう子どもが活躍する、活動する場としては、地域部活動がまさに受け皿となり

得るところなので、そういうところはそういうところに任せたほうが、全体として上手くいくのではないかと、そういう考え方があります。

伊藤委員。

○伊藤委員 確認です。ということは、例えば地区中体連、県の中体連、そして東北、全国もあるのですが、そこまで繋がった試合もあるのです。新規に地域部活動になった場合には、学校名を背負って参加できるのかどうか、その辺を確認します。柔道などは、学校をとおして、全柔連に登録しないと試合に出られないというような規定もあるわけですから、そのような状況を考えると、いろいろ大変なのかと思います。子どもたちにとっては、やっぱり最終的には、試合が全てではないのだけれども、目指すは地区大会、県大会、東北大会とかに出場したいということを考えていると思います。

○学校教育課長 地区大会の部分については、地区の中学校の校長先生方の論議の中で、ある程度のところは決められるのですが、確かに全国まで続くところについては、地区だけでは決められないところがあるので、県のほうの中体連との調整が必要になってきていて、ただ一番は引率の際に顧問がつくかどうかという部分になると思うので、県大会等の大きな大会については顧問をつけると。日常の指導には関わっていなくても、きちんと顧問というものをつけて、部として参加をするような形にできないかということで、県と調整しているところです。

○教育長 難しいところなのです。当面は、例えば中総体の時には、一関地区大会に出るときには千厩中学校柔道地域部活動という名前で、顧問はつかなくてもいいのですが、県大会に出る時には急遽、学校の顧問の先生をつけ、千厩中学校柔道部として出ると。そういう形を取ろうということ。そこは問題なしとなりそうです。そういうやり方で当面行って、同時に、県でも、全国でも今盛んに議論はされていると思いますが、なかなか難しい問題のようです。

その他ありますか。よろしいでしょうか。

これはこういう方向性で進めています。これはあくまで要綱でありますので、あとは教育委員会の中で教育長決裁でこの要綱を定めて、これに基づいて次年度からやれるところを少しスタートさせていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

## その他(2) 一関市博物館の事務事業について

○教育長 (2)一関市博物館事務事業につきまして、事務局から説明願います。

博物館次長。

○博物館次長 (説明)

○教育長 これについて、何か質問はありますか。



佐藤委員。

○佐藤委員 ことばの先人授業について、今年2校で行われたということですが、もし、わかればその学校名と内容について、記録があれば教えてください。

○教育長 博物館次長。

○博物館次長 学校名は南小学校と赤荻小学校でありまして、内容につきましては、確か大槻文彦と、あとは確認してからお知らせします。

○教育長 それでは、次回お知らせください。

これでよろしいでしょうか。

それでは次に進みます。

### その他(3) 新花泉小学校、新大東中学校の統合推進委員会の検討状況について

○教育長 (3)新花泉小学校、新大東中学校の統合推進委員会の検討状況についてであります。これについては内容の校章や校歌などについて、まだ公開されていない中身でありますので、この案件につきましては非公開で議事を進めたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。賛同の方は挙手願います。

ありがとうございます。

それではここからこの案件については非公開で進めたいと思います。

(非公開)

○教育長 非公開を解きます。

### その他(4) その他

○教育長 (4)その他ですが、事務局から何かありますか。

よろしいですか。

それでは以上をもちまして、第230回教育委員会定例会を終わります。